
ボックス！

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ボックス！

【Zコード】

N4465L

【作者名】

じほんライス

【あらすじ】

ショートコント。ボクシングの試合が終わった後の控え室でのワンシーン。

控え室で、大竹誠は、椅子に座つたままじっと動かなかつた。そして、大粒の涙を流した。ボクシングの試合に負けたのだ。会長は誠の背中を叩いた。

「オレに触るな！」

金華山記

卷之二

すすめ会員上

新編江戸川乱歩全集

「ふ。こ。」
アーティストナレーター

卷之三

誠と会長はにらみ合つた。

会長はファイティングポーズをとつた。誠は舌打ちした。会長はじいである。普段なら一発で倒せる。しかし、今は試合が終わり疲労コンバイしている。とても相手などしておれない。

会長は誠のカバンから、お守りを取り出して見せた。

「ああっそれは口り華からもらつた勝利祈願のお守り」

「うん。黒髪たぬきがうめく、二つぱん一ぱん？」

心に負けかんが些もござりなしを

会長はふふふと笑い、それを床に落とし、足で踏みつけた。

頃一月が上り、城は徐々に廻復する。

「うん。いいじゃあるじよなーかー

二

10

「そういう熱い目をしてるならまだまだ行けそうだな」

会長は、ふふつと笑った。

「か、会長」

誠は涙が出そうだった。今度は負けたことから流れる悔し涙ではなく嬉し涙であった。

「あ。そうそう。奥さんから預かってるものがあるんだ」「え。なに」

会長は自分のカバンをまさぐった。

「ははっ口つ華ちゃんから、新しいお守りあるんだ。うへへへ」

なんだわい。

「じゃ——ん」

会長はカバンから、ブライジャーを取り出した。

「そ、それは」

「口つ華ちゃんのブライジャー。お守りだよ」

「ほえ」

誠はふふっときた。天然の口つ華ひじこや。せんなんでおレがやる気が出るとでも？

出るともー。

「会長、ありがと」

「なんかあげたくないな」

「は？」

「これ、わしお守りこしよ」

「ちょ、何言つてんすか。人の女房の」

「これでいろいろ遊ぼう。ぐふふふ

「てんめ——————」

大乱闘。

しばらくして口つ華がやって来て、下着泥棒を呑きのめした」とほじつまでもない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4465/>

ボックス！

2011年1月27日00時43分発行